

2018.09.09 原田作成

## 第34回水郷水都全国会議・霞ヶ浦大会 第3回実行委員会資料

日時：2018年9月9日(日)14:00-16:00(予定)

場所：奥井薬局図書室

出席予定者：荒井 一美、菊地 章雄、原田 泰、奥井 登美子、森 保文

議事予定：

1. 前回議事録(2018.8.4 第2回実行委員会)確認
(報告事項)
2. 前回以降の経過
3. 参加申し込み状況
(検討事項)
4. 見学会
5. 交流会
6. 進行, 役割分担
7. 大会資料集の準備
8. 後援申請, マスコミ連絡
(その他)
9. その他

資料：

1. 前回議事録(2018.08.04)第2回実行委員会 (別紙1)

2. 前回以降の経過

8月
4(土) <b>第2回実行委員会</b> (議事録 資料1)
12(日) 参加申込書、印刷委託(プリントパック, 500部, 940円) (別紙)
13(月) オンライン申込開設 (申込メールの送信先, 原田, 荒井, 菊地)
16(木) 開催要領, 印刷委託(プリントパック, 500部, 6,255円) (別紙)
19(日) 参加申込書, 開催要領受けとり
20(月) 松江事務局へ100部送る
26(日) <b>打ちあわせ</b> (浅野, 荒井, 保母) (原田, 宮本, 奥井参加) (まとめ 資料2)
9月
9(日) <b>第3回実行委員会</b>
10月
8(月) <b>第4回実行委員会</b>
13(土) <b>第34回水郷水都全国会議霞ヶ浦大会・見学会, 交流会, 全国実行委員会</b>
14(日) <b>全体会</b>
16(火) <b>第17回世界湖沼会議・自主企画(ワークショップ)</b>

3. 参加申込状況(9月9日現在) 7名

- ・オンライン参加申込：4名 (米村 輝子, 浅野 敏久, 荒井 一美, 菊地 章雄)
- ・メール申込：1名 (宮本一美)
- ・常陽銀行振り込み：2名 (西谷篤彦)
- ・ゆうちょ銀行：未確認

(検討事項)

4. 見学会

・コース案

12:45	土浦駅 (受付開始)
13:00	出発
13:25	霞ヶ浦用水機場 (15分)
13:55	かすみがうら市立歴史博物館(館外の帆引き船のみ) (15分) (通過) 櫻井鯉養魚場
14:20	高須崎の一本松 (10分)
14:35	道の駅たまつくり (トイレ休憩/買い物) (30分)
15:15	水生植物帯造成施設 (八木蒔、水天宮に駐車) (20分)
15:55	霞ヶ浦導水事業高浜機場 (15分)
16:20	白菊酒造 (40分)
17:30	ホテルマロウド筑波到着

・ハードスケジュールである。

・助成申請

平成30年度市民活動支援事業補助金 (茨城県霞ヶ浦環境科学センター)

5. 交流会

・2018年10月13日(土) 18:00-20:00 ホテルマロウド筑波 参加費 5,000円予定

・全国実行委員会 20:00~ 会場費 10,000円 (予算に未設定)

6. 進行, 役割分担

(参考資料: 第29回大会の時の分担表 資料2)

10.13 (土)

見学会

受付	名簿確認, 資料配付
見学	インストラクタ 説明 (霞ヶ浦用水, 高須崎, 水生植物帯, 導水事業)
補助	

交流会

受付	名簿確認
交流会	司会

10.14 (日)

9:00	開場	会場設営, 受付 司会
9:30	開会, 実行委員長あいさつ	実行委員長
9:40 11:00	各地からの報告(各20分)	プロジェクト用意, 座長 報告者
11:00 12:00	「水郷水都全国会議 34年の活動の成果 とこれからの方向性」	座長 報告者 (浅野, 保母, 荒井)

12:00 13:00	昼食休憩	
13:00 15:00	全体討論	座長 報告者
15:00 15:30	会議総括 ・まとめ、大会宣言、次回開催地の紹介 閉会	

#### 7. 大会資料の準備

大会資料集 目次案 48 ページ 200 部

内容	ページ数	総ページ数
開催趣旨 (開催要領の再録)	4	4
水郷水都全国会議の紹介	2	2
各地からの報告 (各報告者) ・霞ヶ浦からの報告 ・各地からの報告	(霞ヶ浦) 10 (各地) 2×4	18
水郷水都全国会議の活動の成果とこれから ・基調報告 ・意見	(基調報告) 4×3 (意見) 1×5	17
・全国会議総会資料		7
合計		48

見学会資料 目次案 8 ページ 60 部 (コピーでも可)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・見学会概要</li> <li>・見学ポイント紹介</li> <li>・地図</li> </ul>	
--	--

#### 作成スケジュール

9/9 (日) ~	原稿依頼		
9/25 (水)	締切	編集開始	
10/1 (月)		最終稿完成	印刷出稿
10/7 (日)			冊子受け取り
10/8 (月)	第4回実行委員会		

#### 8. 後援依頼, マスコミ連絡

・後援依頼 現在未実施

茨城県、行方市、潮来市、鹿嶋市、銚田市、小美玉市、かすみがうら市、土浦市、つくば市、牛久市、阿見町、美浦村、稲敷市、霞ヶ浦漁業協同組合、玉造ロータリークラブ

マスコミ連絡 現在未実施

読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、東京新聞、産経新聞、日本経済新聞、茨城新聞、47NEWS、共同通信社、時事通信社、ロイター通信、AFP 通信、ブルームバーグ、常陽ウィークリー、読売茨城タウンニュース

9. 予算

2018.08.04 概算見積り

収入の部

科目	予算額	備 考
参加費	200,000	2,000 × 100
現地見学	150,000	3,000 × 50
交流会	300,000	5,000 × 60
協賛金	0	0
その他	100,000	100,000
計	750,000	

支出の部

科目	予算額	備 考
運営費	65,000	会議費、事務用品、弁当、交通費 アルバイト 3,000 × 5
会場設営費	60,000	26,720(中1) + 16,910(小1) + 6,200(小3) = 49,830 全国実行委員会(10,000)
印刷費	70,000	開催要領 500部 (6,250、大会資料集 200部 (40,000?))
通信費	100,000	大会案内送付他
現地見学費	150,000	バス借上げ、入館料
交流会費	250,000	
報償費	0	
その他	0	
計	695,000	

10. 当面のスケジュール

(別紙 1)

第 34 回水郷水都全国会議・霞ヶ浦大会  
第 2 回実行委員会議事録案

日時：2018 年 8 月 4 日(月)14:00-16:45

場所：奥井薬局図書室

出席者：荒井 一美、菊地 章雄、原田 泰、奥井 登美子、森 保文

- (1) 前回第 1 回実行委員会 (2018.07.15) 議事録の確認  
第 1 回実行委員会議事録案(別紙 1)を確認した。

(報告事項)

- (2) 実行委員

岩崎氏の辞退と御供氏の追加が報告、提案され、次の名簿が承認された。

実行委員長	荒井一美				
事務局長	原田 泰				
委員	石田 幸彦	奥井 登美子	柏村 忠志	菊地 章雄	栗又 衛
	額賀 勝男	濱田 篤信	御供 文範	宮本 一美	森 保文

会計担当：菊地章雄

(協議事項)

- (3) 見学会について (担当 菊地)

別紙 2 に基づいて見学会の計画について検討し、以下の企画を作成した。

- ・見学会：2018 年 10 月 13 日(土) 13:00-17:00
- ・参加費 3,000 円
- ・参加人数 50 名 (暫定。正確には玉里観光に問い合わせる)
- ・マイクロバス 2 台 (40,000×2 台)
- ・コース

土浦駅ーかずみがうら市歴史博物館ーふれあいランド虹の塔ー高須の一本松ー植生帯復元地ー白菊酒造ーホテルマロウド筑波

以下の意見があり、実際に廻って詳細を詰めることとした。

- ・高須の一本松では開発前の霞ヶ浦の湖岸の状況の話を知ることができる。
- ・佃煮工場、漁港、霞ヶ浦用水ポンプ場、導水施設、ハス田、霞ヶ浦環境科学センターなどのポイントを加えられるかどうか検討するとよい。
- ・白菊酒造での見学はどういうものか。環境教育活動の話も聞けるのではないか。

- (4) 懇親会 (担当 荒井)

- ・2018 年 10 月 13 日(土) 18:00-20:00 ホテルマロウド筑波, 参加費 5,000 円予定。  
地元の食材を使った料理など要望を出したらどうか。

- (5) 会場 茨城県県南生涯学習センター (担当菊地)

次項のプログラムの検討において分科会を行わない方向が出てきており、小講座室(54名)は不要になる可能性がある。早急に決定する。

- ・中講座室 1(100 名)：全体会, 分科会 1
- ・小講座室 1(54 名)：分科会 2
- ・小講座室 3(18 名)：事務局, 控室

- (6) プログラムの検討

提案された案を検討した結果、次のプログラム案がまとまった。現地実行委員、全国実行委員の意見を聞いて早急に決定する。

9:00	開場	
9:30	開会, 実行委員長あいさつ	
9:40-11:00	各地からの報告(1時間 20分)	
	・霞ヶ浦からの報告(20分)	
	・各地からの報告(20分×3)	
11:00-12:00	全体会 1(1時間)	
	「水郷水都全国会議 34年の活動とこれからの方向性」	
	・問題提起(20分×3=1時間)	
	・34年の総括	浅野敏久
	・成果と課題	保母武彦
	・地域から見た問題	荒井一美
12:00-13:00	昼食休憩	
13:00-15:00	全体会 2(2時間)	
	・午前中の論点の整理(10分)	(司会)
	・意見報告(50分 3~4件)	(報告募集)
	・会場での意見交換(45分)	
	・論点の整理(10分)	(司会)
15:00-15:30	全体会 3(30分)	
	・まとめ(10分)	
	・大会宣言(5分)	
	・次回開催地の紹介(5分)	
	・閉会	

(7) 開催要領, 申込用紙の作成 (担当原田)

別紙3の開催要領、申込用紙の案を検討した結果、本日の議論に基づいて修正し、8月10日を目途に原稿を完成させ印刷を行うこととした。完成原稿はウェブ公開し、参加募集を開始する。郵便による発送は8月25日を目途とする。

(8) 大会資料集の準備 (担当原田)

大会資料集はA4 60ページを目安とし、プログラムの修正に合わせて以下の内容案とする。

(表紙) 第34回水郷水都全国会議・霞ヶ浦大会	大会資料集
(目次)	
(1) 大会開催要領(プログラム, 開催趣旨, 実施要領)	
(2) 各地からの報告要旨	
(3) 水郷水都全国会議 34年の活動とこれからの方向性	
・趣旨	
・講演要旨	
・浅野敏久	
・保母武彦	
・荒井一美	
・公募発表要旨	

- (4) 水郷水都全国会議総会資料
    - ・活動報告, 活動方針, 全国会議の紹介
  - (5) 協賛広告
- (裏表紙)

開催要領の原稿が完成した8/10以降、各原稿の依頼を行う。期限9月9日(第3回実行委員会開催日)とする。各地からの報告の原稿も同じ。その後編集を行い、10月1日印刷依頼、10月7日受けとりを目指すこととした。

#### (9) 予算

資料に基づいて予算の検討を行った。以下のような議論があった。

- ・分科会を行わなければ、会場設営費のうち小講座室1(16,910円)は不要になる。
- ・印刷費に関して、開催要領の部数はもっと少なくてもいいかもしれない。今回はポスター、チラシは作成しない。
- ・通信費に関して、開催要領の郵送は少ないので10万円はかからないのではないかと。

#### (10) その他

そのほか以下のような議論があった。

##### ①当日の分担

- ・当日の分担は次回具体的に検討する。
- ・学生アルバイトを検討したらどうか。(3,000円×5人など)

##### ②「水郷水都全国会議34年の活動とこれからの方向性」について

- ・この検討は全国実行委員会に依頼する必要がある。
- ・運動に関する問題と組織に関する問題がある。
- ・当日まとめはどうするのか。大会宣言にする必要はないのではないかと。

##### ③見学会に対する助成申請

菊地氏より見学会に関して茨城県の「平成30年度市民活動支援事業費補助金」の助成申請を検討していることが報告され、これを了承した。

#### (11) 次回会議開催予定

##### ①次回、第3回実行委員会

2018年9月9日(日)14:00から 奥井薬局図書室

議事予定

- ・大会内容詳細検討、受付、会場など分担決定
- ・大会資料編集開始
- ・見学会、交流会詳細確認
- ・その他

##### ②第3回実行委員会までの主な作業日程(日付は予定)

- ・(早急に)「水郷水都全国会議34年の活動とこれからの方向性」について全国実行委員会に検討依頼
  - ・(8/10)開催要領の確定、印刷依頼、ウェブ公開、参加募集開始
  - ・(8/20)開催要領印刷完了、郵送開始
  - ・(8/20)基調講演原稿依頼(～9/20)
  - ・(日付未定)見学会コース確認
- (以上)